

〈体育科〉 1年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・全体的に走力が低く、転んでけがをする子が多い。転んだ時に、手は出ている。
- ・運動技能に優れている児童もいるが、投の技能、筋力などが不十分な児童が多い。
- ・多様な動きに慣れていない。用具の操作(ボール等)も個人差が見られる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・ルールを守り、安全に気をつけて運動をしよう意識している児童が多い。中には楽しさが先にたっってしまう、話を聞かず安全に対する諸注意が散漫になってしまう子がいる。
- ・友達の動きを見て、良いところを真似したり、自分で工夫したりする姿が見られた。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・どの運動にも、楽しみながら進んで取り組む。
- ・休み時間には、ボールや遊具を使った遊び、鬼ごっこ、タイヤなどを楽しんでいる。
- ・コロナ禍の影響から、外で遊ぶ経験が少ない児童も見られる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・運動の基礎となる動きをたくさん経験させるようにすること。
- ・柔軟性や筋力、敏捷性を身に付けさせるようにすること。
- ・多様な動きを多く経験させるようにすること。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・友達の良い動きを見付けて参考にしたり、自ら工夫して運動したりすることができるようにすること。
- ・みんながゲームを楽しめるようルールや場を工夫したり、作戦を考えたりすることができるようにすること。
- ・友達同士で協力をし、アドバイスをしたり、教え合ったりして、意識を高めること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・集合、号令、話を聞くなど、学習規律を守ること。
- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わわせることで、外遊びの日常化を図ること。
- ・室内遊びやごっこ遊びが好きな児童の、体を動かす外遊びの意欲を高めること。
- ・友だちと進んでかかわり、協力して運動する態度を育てること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・走る、跳ぶ、投げる、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる、バランスをとる、用具を操作する等の基礎的な動きを多く経験させる。
- ・友達のよい動きをたくさん見つけさせ、コツとなる動きを理解させられるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・児童の発想が広がるような声掛けや場の工夫を行う。
- ・グループの協力や作戦によって、楽しくできるようなゲームを行う。
- ・スモールステップを踏ませることで、できるようになる楽しさをより多く味わわせる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・友だちと関わりながら運動を楽しむことができるよう、グループ作りやルールを工夫する。特に男女が一緒に遊べるような遊びや運動を工夫する。
- ・校庭遊びだけでなく、体育館遊びや屋上遊びの日などはみんなで遊び、運動の心地よさを実感させる。
- ・学習の流れやルールの確認するときに、きちんと話を聞いて理解できるようにする。